

ブルガリアが世界に誇る名門合奏団と
至宝のヴァイオリニストがお届けする
ベスト・クラシック名曲コンサート!

明治ブルガリアヨーグルト PRESENTS

PROGRAM A

《珠玉の室内楽名曲 全19曲!》

J.S.バッハ: G線上のアリア
ドヴォルザーク: ユーモレスク
シューベルト: 楽興の時~第3番
パッヘルベル: カノン
ボッケリーニ: メヌエット
ゴレミノフ: 収穫と踊り
クライスラー: 愛の喜び (☆)
マスネ: タイスの瞑想曲 (☆)
サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ (☆)

モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジーク
~第1楽章

チャイコフスキー: 弦楽セレナード
~第2楽章ワルツ

イギリス民謡: グリーンスリーブズ

アイルランド民謡: 庭の千草

ハイドン: セレナード

J.S.バッハ: 主よ、人の望みの喜びよ

J.S.バッハ: 幻想曲 BWV.542

エルガー: 愛のあいさつ (☆)

シューベルト: アヴェ・マリア (☆)

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン (☆)

名曲 の花束

ソフィア・ゾリステン & リヤ・ペトロヴァ

Sofia Solisten &
Liya Petrova



[指揮] プラメン・デュロフ [弦楽合奏] ソフィア・ゾリステン



[ヴァイオリン] リヤ・ペトロヴァ (☆)

2016 11月5日(土) 14:00 開演 (13:15 開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (全席指定・税込)

主催/朝日放送 インタースペース 特別協賛/株式会社 明治 後援/ブルガリア共和国大使館

ご予約・お問い合わせ

チケットスペース 03-3234-9999

チケットスペースオンライン 検索

5/28(土)発売

フリーガイド

◎チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 296-652] <http://pia.jp/> ◎e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

◎ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード: 33465] <http://l-tike.com/>

◎東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 ◎東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

◎セブンチケット <http://7ticket.jp/> 全国のセブン-イレブン店頭マルチコピー機

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

■横浜公演 プログラムA

11/8(火) 13:30

横浜みなとみらいホール

ご予約・お問い合わせ

神奈川芸術協会 045-453-5080

■立川公演 プログラムA

11/26(土) 14:00

たましんRISURUホール (立川市市民会館)

ご予約・お問い合わせ

チケットスペース 03-3234-9999

名曲の花束

Sofia Solisten & Liya Petrova

ソフィア・ゾリステン & リヤ・ペトロヴァ

心に響く暖かな音色、世界最高峰のアンサンブルが紡ぐ極上のひととき

誰もが一度は聴いたことのあるクラシックの名曲たちを、ヨーロッパの一流の音楽家たちの演奏で・・・！ いつまでも色あせない素敵な名曲たちを束ねて、バラとヨーグルトの国ブルガリアから、私たちの心をそっと癒してくれる「名曲の花束」が届きます！

弦の国ブルガリアならではの緻密なアンサンブルを誇るソフィア・ゾリステン。その響きは、数多くの合奏団がひしめくヨーロッパの中でも一際美しく、世界最高峰のアンサンブルとして人々に感動を与え続けています。“人が話すことによって心を伝えるように、ソフィア・ゾリステンのメンバーは音楽で聴衆の方に語りかけるのです”と指揮者プラメン・デュロフが話すように、個々が強く主張するのではなく、音と音が響き合うことで醸しだされるソフィア・ゾリステンの音楽には、どこか懐かしさを感じさせるような優しさが満ち溢れています！

ソリストには、ブルガリアが誇る1990年生まれの実貌の天才ヴァイオリニストリヤ・ペトロヴァが登場。わずか6歳にしてプラメン・デュロフ指揮、ソフィア・ゾリステンと共演したリヤが贈る甘く美しい名曲小品や圧倒の超絶技巧曲で息の合った渾身とした演奏を聴かせてくれるでしょう！

秋深まるこの季節、心洗われるひとときを、たっぷりとお過ごしください！

ソフィア・ゾリステン Sofia Solisten

2017年に創設55周年を迎える長い歴史と伝統を誇る、ブルガリアを代表する弦楽オーケストラ。1962年、作曲家でありブルガリア放送交響楽団の指揮者ヴァージル・カザンジェフを創始者として結成。ソフィア国立歌劇場管弦楽団のソリスト・クラスの精鋭を集めて組織され独立した団体として活動を始めた。レパートリーはバロックから現代まで600曲以上を誇り、ブルガリアの著名な作曲家によって書かれた100曲以上の初演も行っている。これまでにヨーロッパをはじめ、ロシア、南北アメリカ、オーストラリア、中国、韓国、日本など広く国際的に活躍。ドイツ、フランス、スペイン、イタリアなどで数多くの国際音楽祭にも出演し、由緒ある音楽祭で栄誉ある賞に輝いている。1972年には、その功績に対して「ディミトロフ賞」（国民最高栄誉賞）が授与されている。録音も60タイトルを超え、ソニー・クラシカルBMG、コロムビア、ハルモニ・ムンディ、デノン、デッカ、SABA、ビクターなどからリリースされ、TVやラジオの出演や映画音楽の収録なども世界各地より依頼が相次いでいる。指揮者は1988年に降3代目としてプラメン・デュロフに引き継がれ、広く国際的に活躍している。2013年に次いで16度目の来日。



プラメン・デュロフ (指揮) Plamen Djouroff

1949年生まれ。指揮者、作曲家。ソフィア音楽アカデミーでピアノをマラ・バルサモヴァ、作曲をマリン・ゴレミノフ、指揮法をコンスタンチン・イレフ、ウィーン音楽アカデミーにおいてカール・エスタライヒャーに師事。ブルガリアのプレーベン交響楽団で指揮者として活動を開始し、1988年よりソフィア・ゾリステンの指揮者に就任。これまでに、ドイツ、ベルギー、イタリア、ハンガリー、ロシア、ポーランド、チェコ、スロヴァキア、メキシコ、キューバ、韓国、日本など30ヶ国以上で指揮をとっている。その功績に対し、ブルガリアの芸術、創造分野において名声あるナショナル・アワードを獲得している。現在ソフィア音楽アカデミーで後進の指導にもあたりブルガリア音楽協会会長も務めている。巧みな表現で名曲に新たな命を吹き込む指揮ぶりで多くのファンを持つ。



リヤ・ペトロヴァ (ヴァイオリン) Liya Petrova

1990年ブルガリアのソフィアで音楽家の一家に生まれる。4歳からヴァイオリンを始め、わずか6歳のときにプラメン・デュロフ指揮、ソフィア・ゾリステンと共演をきっかけに、様々なオーケストラとの共演も果たす。8歳でユネスコのモーツァルト・メダルを授与され、ユネスコ最年少アーティストとなる。2001年、ロストック音楽・演劇大学に入学。ペトル・ムンテアヌに師事。ヨーロッパの様々な著名音楽祭に室内楽奏者として出演。2011年、アテネでの室内楽コンサートシリーズで、マルタ・アルゲリッチ、ルノー・カプソン、ユーリ・バシメット、ミッシェル・マイスキーらと共演。2012年、フィリップ・ヘレヴェッヘ指揮ロイヤル・フランドル・フィルハーモニー管弦楽団のツアーに参加。2013年、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクールでメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64」を演奏し、第2位に輝く。2010年よりブリュッセルの王立エリザベス音楽院でオーギュスタン・デュメイに師事。使用楽器は王立エリザベス音楽院から貸与されている1690年製のマッテオ・ゴフリラー。2014年5月にオーギュスタン・デュメイ指揮、関西フィルハーモニー管弦楽団にソリストとして初来日を果たし、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を披露し、完璧なテクニックから生まれる超絶技巧に加え、ロマンティックな音色で聴衆の度肝を抜いた。今回のプラメン・デュロフ指揮、ソフィア・ゾリステンとの日本ツアーでは息の合った演奏とともに、ブルガリアが誇る新たな才能の開花にも期待が寄せられている。



明治ブルガリアヨーグルト (LB81)

特定保健用食品

株式会社 明治